

第3回大和市まごころ地域福祉センターの指定管理者選定委員会 議事録

- 日時：令和4年10月5日（水）午後2時から午後3時50分まで
- 場所：大和市保健福祉センター 1階 検診室
- 出席状況 委員 5名 金子委員、高橋委員、山下委員、新比叡委員、杉内委員
事務局 9名 健康福祉総務課 山崎、高橋、瀧澤、坪井
人生100年推進課 堤、高橋、菊池
こども総務課 瀬古、長田

■公開・非公開の状況

- 公開 非公開 一部非公開

■次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1) 公募の経過、審査会の流れについて
 - (2) 指定管理者候補者選定審査
 - ・企画提案説明
 - ・評価表記入、確認
 - ・休憩
 - ・集計結果報告及び候補者の選定
 - ・審査結果報告
- 4 閉会

開会

○会長あいさつ

○公募の経過及び審査会の流れについて事務局より説明

【公募の経過】

- ・募集期間：令和4年8月1日～令和4年9月20日
- ・募集方法：公募
- ・申込み団体：1団体 社会福祉法人 敬愛会（以下、敬愛会）

【審査会の流れ】

- ・次第にそって、審査会の流れを説明。
- ・「大和市まごころ地域福祉センターの指定管理者の候補者審査要領」に基づき審査方法について説明。

企画提案説明

○敬愛会より、企画提案説明（30分）が行われる。

【質 疑】

委 員：健康管理について、新型コロナの対策を中心に企画提案されたが、食事の提供からの感染を防ぐための対策はどのように考えているか。

敬愛会：当法人の委託事業者は検便のチェックを実施しており、食事についてはマスク配膳を実施している。綺麗なものを綺麗な状態で提供できるよう心掛けている。

委 員：デイサービスの稼働率を年間 3%程増やすことを目指しているとのことだが、3%の根拠は何か。

敬愛会：まごころ地域福祉センターの定員は 30 名。当法人も数か所のデイサービスを行っているが、当日休みの人などもおり、稼働率は 75%程である。現在の稼働率を 5 年間で 75%まで引き上げることを想定して年 3%と想定した。その目標達成は可能と考えている。

委 員：地域の連携について、法人としての取り組みはわかるが、子育てと高齢者についてまごころ地域福祉センターとしての地域の連携をどう考えているか。

敬愛会：『希望の手紙プロジェクト』や紙芝居を通じて地域包括やボランティアと連携していきたいと考えている。

委 員：まごころ地域福祉センターは高齢者と子どもそれぞれの部分が存在している。プレゼンを聞いて今までずっと高齢者の事業を行ってきたことはわかったが、子どものことに関して何か敬愛会だからこその考えがあれば教えてほしい。

敬愛会：数年前に法人の中で企業内保育の検討を行った。保育の場所が用意できなかったことや、その後新型コロナが流行してしまい、話が進められる状況ではなくなりましたが、子育てに関しては、取り組みたいと考えていた。新型コロナの影響で実現できなかったが、先ほどの紙芝居や地域包括を通じて小中学校に関わっていきたいという考えがある。小規模多機能型居宅介護での『あくしゅ』や『より道一休』では近所の小学校等のイベント等に声をかけてもらっているので、少しずつ交流ができています。今後はもっと積極的に法人のボランティアを呼んで、イベントを行っていききたいが、具体的な内容については今後考えていきたい。

委 員：南部の方の地区社協の連携をしていくとのことだったが福田北地区社協と今まで関わりはあったか。

敬愛会：最初に在宅介護支援センターができた当初は当法人が担当エリアだったので民生委員との交流は個別ケースを通してではあるが関わりがあった。また、以前当法人で役員をしていた評議員が福田北エリアとの境目ぐらいにお住まいで色々な活動をされている方だったのでその活動に携わらせてもらった。福田北包括があるため具体的に一緒に何かやろうということにはなかったので久しぶりの関わりになる。

委員：福田北地区社協にもボランティアがいるがそことの連携も考えているか。

敬愛会：ぜひ連携していきたい。地区社協と当法人は、できることやお願いしたいことの連携体制をとっているの、今回指定管理者に決定した際には若い力が必要であれば私たちが、熟練したテクニックが必要であれば地区社協の皆さまにという形で相互に協力体制を築いていければと考えている。

委員：ぜひ地区社協にもそういう志を持っている方がたくさんいるので、連携を図っていただければ地域で一緒に協力していけるのではないかと思います。

委員：子育てに関して、資格を持っているが経験年数として浅い職員がいると思うが、実際子育ての事業についてどのように考えているか。

敬愛会：子育て支援センターについて、可能であれば現在就労している職員の方の雇用の継続をお願いしたい。これまでの取り組み等について教えをもらいながら、敬愛会の力を融合させて新しい地域との関わり方を作っていく段階のため、具体的にはまだお答えできず、資料の記載も薄くなってしまった。当法人の職員には保育士の資格を持っている者が6名いるが、実務経験者は1人しかいないため、手探りというのが実状である。今回（現在子育て支援センターで雇用されている職員が）残っていただけなのであれば教えを乞いながら、人事異動で経験はないが興味のある保育士を配置して、地域の情報を把握しながら新しいことに取り組んでいけたらと考えている。

委員：私も一番気になっているのが今働いている職員が継続雇用できれば良いなと感じていて、今まで何回も通っていた子どもたちやデイサービスの利用者を全く新しい職員が対応するより良いと思っている。最初は新しい要求を色々聞くより、今までやってきた地道な活動をやってもらいたい。楽しみに利用している方たちもいるし民生委員の関わりもあるので、多くを望むよりは確実に1年目2年目の実績を積んでもらって、余裕が出てきたら新しいことに挑戦するようにしてもらえたらよいと思っている。

評価表記入

○評価表の採点方法について「指定管理審査に係る評価表」を用いて事務局より説明。

- ・評価項目13については縮減割合が0.23%のため1点であることを周知。

○委員による評価表の記入

評価結果報告及び候補者の選定

○事務局から評価結果の報告

- ・敬愛会：評価点 365点（結果等については、審査結果報告のとおり）
 - ・「大和市まごころ地域福祉センターの指定管理者の候補者 審査要領」に基づき、次の2点を満たしていることから審査対象となることを確認
- ※60点×評価者数（5人）以上の点数 → 365点

※60点以上の評価者 → 半数以上

- ・今回は申込み団体が1団体のため、同要領により、敬愛会が指定管理者の候補者として最適か否かの審査とする。

○候補者の選定

- ・委員より意見なし。
- ・敬愛会を指定管理者の候補者として決定することにつき、全員了承。

○今後のスケジュール等について、事務局から説明

- ・今後は、本委員会の審査結果を市長へ報告し、市長による候補者の決定を行う。12月議会において議案を上程し、議会での議決後に、新たな指定管理者との間で協定締結に向けて協議を行う。

委員の任期については設置要綱第5条に基づき、『市長に報告する日まで』となる。

なお、本日の審査結果については、後日ホームページにて公開する。

閉会

○会長あいさつ

- ・以上をもちまして、まごころ地域福祉センターの指定管理者選定委員会の審議は終了となります。委員のみなさま、ご協力ありがとうございました。